

三井物産プラスチック関西株式会社御中

富士インパルス規格袋 IA 製品安全データシート

岡田紙業株式会社

製品安全データシート

整理番号 POES990201

製造者情報

会社名 : 東洋紡績株式会社
住所 : 大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門 : フィルム生産・業務部 担当者(作成者) : 吉野安臣
電話番号 : 06-6348-3782 FAX番号 : 06-6348-3775
緊急連絡先 : 上記担当部門 電話番号 : 06-6348-3782
作成 1999年 2月 1日

製品名 二軸延伸ポリエステルフィルム E5100
(東洋紡エステルフィルム) E5102
E5200
E5202
E5101

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : ポリエチレンテレフタレート
成分及び含有量 : ポリエチレンテレフタレート 98%以上
化学式又は構造式 : $-\text{[C-(C}_6\text{H}_4\text{)-CO-O(CH}_2\text{)}_2\text{-O]}_n\text{-}$
官報公示整理番号及びCAS No: 化審法 CAS No
7-1022 25038-59-9
国連分類及び国連番号 : ———

危険有害性の分類 分類の名称: 分類基準に該当しない。
危険性 : 特になし。但し、着火源があれば燃える。
有害性 : なし
環境影響 : なし

応急措置 眼に入った場合 : 清水でよく洗う。異常が有る場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合: 特に応急処置不要
吸引した場合 : ———

| | | |
|-----------------|---------|---|
| | 飲み込んだ場合 | : ——— |
| 火災時の措置 | 消火方法 | : 消火剤、大量の水を用いる。消火する時は空気呼吸器を着用すること。 (注) 不完全燃焼すると二酸化炭素と水のほかに一酸化炭素等の有害ガスが発生しますので注意して下さい。 消火剤 : 水、泡消火剤(エアフォーム)、粉末消火剤 |
| 漏出時の措置 | | : 回収し、廃棄上の注意に従って廃棄する。 |
| 取扱い及び 保管上の注意 | 取扱い | : ①人が転倒しないように歩行域からはフィルムを取り除くよう留意する。 ②フィルムを取扱う場合は、静電気除去装置を必要な場所に適宜配置し、人体を保護する必要がある。また、溶剤等の引火による火災発生を防止する必要がある。 ③荷崩れ防止や落下防止等一般的な重量物取扱上の注意をする。 ④重量物については手足の保護、腰痛防止の為に適切な治具を用いる。 |
| | 保管 | : 熱・発火源から離れた乾燥した場所で常温保管する。 |
| 暴露防止措置 | 管理濃度 | : ——— |
| | 許容濃度 | : ——— |
| | 設備対策 | : ——— |
| | 保護具 | 呼吸用保護具 : ——— |
| | 保護眼鏡 | : 厚いフィルムを粉砕する作業を行う場合は保護眼鏡使用が望ましい。 |
| | 保護手袋 | : 厚いフィルムを扱う場合、フィルム先端が鋭くなりやすいため保護手袋使用が望ましい。 |
| | 保護衣 | : ——— |
| 物理/化学的性質 | 外観等 | : フィルム |
| | 沸点 | : ——— |
| | 蒸気圧 | : ——— |
| | 揮発性 | : なし |
| | 融点 | : 255℃ |
| | 比重又は容比重 | : 1.3~1.4 |

| | | | |
|--|-----|-----|------|
| | 初留点 | : | —— |
| | 溶解度 | 水 | : 不溶 |
| | | その他 | : —— |

| | | | | |
|------------------------|-----------|------------------------------------|--|----------------|
| 危険性情報 (安定性・ 反応性) | 引火点 | : | —— | |
| | 発火点 | : | 50.8℃ | |
| | 爆発限界 | : | 上限: —— 下限: —— | |
| | 可燃性 | : | あり。着火源があれば燃える。 | |
| | 発火性 | : | なし | |
| | | | | (自然発火性、水との反応性) |
| | 酸化性 | : | なし | |
| | 自己反応性、爆発性 | : | なし | |
| | 粉塵爆発性 | : | 厚いフィルムを粉砕作業を行う場合には、静電気による粉塵爆発の危険性があるので、静電気除去装置等を適宜配置する必要がある。 | |
| | 安定性、反応性 | : | 安定で反応性に乏しい。 | |
| その他 | : | 万一着火の場合を想定して、呼吸用保護具を装備しておくことが望ましい。 | | |

| | | | |
|-------|--|---|----|
| 有害性情報 | ◆全て常態で取り扱うことを原則として記述する。従って、溶融時・燃焼時には触れない。 | | |
| | ◆PET は諸外国及び国内において直接食品に接触する使用が認められている。 (食品衛生法) | | |
| | ◆FDA の許可申請の際に、Du Pont 社が提出した「ラットおよびイヌに対する90日間飼育試験報告書」によれば、雄雌のラット及びイヌに対し、PET を10%含有する飼料を自由摂取させて3ヶ月間飼育したところ、栄養状態は正常で、血液及び尿の検査、病理学的検査においても異常は認められなかったとしている。 (引用文献参照) 従って、データは少ないが、下記のごとくとする。 | | |
| | 皮膚腐食性 | : | なし |
| | 刺激性(皮膚、目) | : | なし |
| | 感作性 | : | なし |
| | 急性毒性(50%致死量等を含む) | : | なし |
| | 亜急性毒性 | : | なし |

慢性毒性 : なし
癌原性 : なし
変異原性 (微生物、染色体異常) : なし
生殖毒性 : なし
催奇形性 : なし
その他 (水と反応して有毒な物を発生する等を含む) : ——

環境影響情報

分解性 : なし
蓄積性 : なし
魚毒性 : なし
その他 : ——

廃棄上の注意

特になし、一般的な焼却或は埋立
焼却: 「大気汚染防止法」等に適合した焼却設備を用いて焼却する。
埋立: 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、公認の処理業者にて、処理をする。

輸送上の注意

重量物のため、荷崩れ防止に注意

適用法令

1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
(産業廃棄物、廃プラスチック類)
2) 食品衛生法
(食品包装用途に使用する場合)

その他

食品用プラスチック衛生学
引用文献 厚生省環境衛生局 食品化学課 編
(講談社) P. 218

記載内容の取扱

1) 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
2) 注意事項は通常の取扱を対象にしたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
3) 記載内容は情報提供であって保証するものではありません。

製品安全データシート

会社名 三菱アルミニウム株式会社 富士製作所
住所 静岡県裾野市平松85
担当部署 箔製造部 箔品質技術室長 伊東
TEL 0559-93-4526
FAX 0559-92-4146



作成 2000年 6月26日

製品名 (化学名、商品名等)

アルミニウム箔

物質の特定

単一製品・混合物の区分: 単一製品

化学名: アルミニウム

成分及び含有量: 99.30%以上

化学式又は構造式: Al

官報公示整理番号 (化審法、安衛法): 安衛法→粉じん障害防止規則 (昭54、労令18)

CAS No. 7429-90-5 国連分類及び国連番号

危険有害性の分類

分類の名称:

危険性: 認められない

有害性: 認められない

環境影響: 認められない

応急措置

目に入った場合: 特に無し

皮膚に付着した場合: 措置不要

吸入した場合: 特に無し

飲み込んだ場合: 特に無し

火災時の措置

消火方法: 一般消火

消火剤: 泡、CO₂等

有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

| | |
|----------------------------|------|
| 皮膚腐食性： | 特に無し |
| 刺激性（皮膚、眼）： | 特に無し |
| 感 作 性： | 特に無し |
| 急性毒性（50%致死量等を含む）： | 特に無し |
| 亜急性毒性： | 特に無し |
| 慢性毒性： | 特に無し |
| がん原性： | 特に無し |
| 変異原性（微生物、染色体異常）： | 特に無し |
| 生殖毒性： | 特に無し |
| 催奇形性： | 特に無し |
| その他（水と反応して有毒なガスを発生する等を含む）： | 特に無し |

| | | |
|--------|--------|------|
| 環境影響情報 | 分 解 性： | 特に無し |
| | 蓄 積 性： | 特に無し |
| | 魚 毒 性： | 特に無し |
| | そ の 他： | 特に無し |

廃棄上の注意 コイル状のまま屋外に廃棄しないこと。

輸送上の注意 打痕を生じるような衝撃を与えないよう注意する。
雨水に濡らさないよう注意する。

適用法令 安衛法→粉じん障害防止規則（昭54、労令18）

その他（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）

記載内容の問い合わせ先： 記載担当部門

引用文献 (1) 「化学品別 適用法規総覧」、化学工業日報社編

(2) 「国際化学物質安全性カード」、化学工業日報社編

(3) 「Hazardous Chemicals Desk Reference」 by Van Nostrand Reinhold Company, Inc.

(4) 「金属データブック」、日本金属学会編

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 スミケン
 整理番号 CD1101

会社名 住友化学株式会社
 住所 〒104-8260 東京都中央区新川2-27-1
 担当部門 樹脂事業部
 電話番号 03-5543-5421
 F A X 番号 03-5543-5995

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
 化学名又は一般名 エチレンホホリマー
 別名 低密度ポリエチレン
 化学特性 $[\text{CH}_2-\text{CH}_2]_n$

| 成分・含有量等 | 化審法番号 | 安衛法番号 | CAS番号 | 含有量(%) |
|-----------|-------|-------|------------|--------|
| エチレンホホリマー | (6)-1 | 既存 | 9002-88-4 | 98< |
| 結晶性ホホ | 非公開 | | 14808-60-7 | 0-0.5 |

| 危険有害成分[1] | PRTR法 | 安衛法 通知対象 | 毒劇法 | CAS番号 | 含有量(%) |
|-----------|-------|-------------|-----|------------|--------|
| 結晶性ホホ | 非該当 | 該当 | 非該当 | 14808-60-7 | 0-0.5 |

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性
 有害性 眼・皮膚を物理的に刺激する可能性がある。加熱、溶融したポリマーに接触すると火傷をすることがある。
 極微量含有する成分に発がん性物質が含まれる。

環境影響
 物理的及び
 化学的危険性 難分解性である。
 可燃性がある。熱、火花及び火炎で着火することがある。火気注意。空気中で細かい粉塵が飛散し、爆発性の混合気体を形成する。粉塵爆発性は高い。

分類の名称(日本方式) 分類基準に該当しない

4. 応急措置

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。

消火を行う者の保護

消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、防塵マスク、酸素呼吸器等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業の際には適切な保護具を着用し、粉塵、ガスなどを吸収しないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。付近の着火原となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。こぼれた場所は滑りやすいので注意する。

環境に対する注意事項

本製品は、環境中の生物や水質に影響を及ぼす可能性があるため、漏出物を河川や下水に流してはいけない。

除去方法

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。適切ならば、粉塵を防ぐためにまず湿らせる。真空中で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で回収する。汚染した箇所を洗剤と水で洗浄し、洗浄水は全て密閉できる容器（廃棄物入れ）に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取り扱いは換気の良い場所で行う。屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。取扱い場所には関係者以外の立入りを禁止する。

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用して取扱う。

休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗うがいをする。また、休憩場所には汚染された保護具を持ち込んではいない。

粉塵が発生する場合は、密閉系で取扱う。粉塵の堆積を防ぐ。粉塵防爆型の電気設備及び照明設備を用いる。アースの使用等により帯電を防ぐ。

注意事項

容器を転倒、落下させる、引きずるまたは容器に衝撃を加える等の粗暴な取扱いをしない。粉塵が発生する場合は、局所排気内で取扱う。

安全取扱い注意事項

成形残分は良く冷却してから廃棄する。

保管

保管条件

直射日光を避け、乾燥した冷暗所に保管する。通気のよい場所で

| | |
|--------|--|
| 技術的対策 | 容器を密閉して保管する。 通風をよくし、蒸気または粉塵が滞留しないようにする。可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。 |
| 混触禁止物質 | 強酸化剤 |
| 容器包装材料 | 情報なし |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|------------|--|
| 設備対策 | 局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 |
| 許容濃度 | <p>管理濃度：</p> <p>[結晶性シリカ] 3.2 (mg/m³) (遊離ケイ酸含有率0.5%として) $E=2.9/(0.22Q+1)$ E:管理濃度 (mg/m³) Q:粉塵の遊離珪酸含有率(%)</p> <p>日本産業衛生学会(2003年度版) (第3種粉塵として) 2 mg/m³(TWA) (吸入性粉塵) 8 mg/m³(TWA) (総粉塵)</p> <p>[結晶性シリカ] (第1種粉塵として) 0.5 mg/m³(TWA) (吸入性粉塵) 2 mg/m³(TWA) (総粉塵)</p> <p>ACGIH(2003年度版) (一般粉塵として) 3 mg/m³(TWA) (吸入性粉塵) 10 mg/m³(TWA) (総粉塵)</p> <p>[結晶性シリカ] 0.05mg/m³(TWA)</p> |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具 | 防塵マスク |
| 手の保護具 | 保護手袋 |
| 眼の保護具 | 側板付き保護眼鏡、防災面 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護衣(長袖作業衣)、帽子、安全靴等 |
| 衛生対策 | 本製品の有害性に関するデータはほとんど得られていないため、取扱者の曝露を最小限にするよう、作業環境を整備し、発散した粉塵を吸い込まないように適切な保護具を着用して取扱う。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------------|-----------------------|
| 外観等 | |
| 物理的状態 | 固体 |
| 形状 | ペレット状 |
| 色 | 白色または乳白色 |
| 臭い | 無臭 |
| 物理学的状態が変化する特定の温度/温度範囲 | |
| 融点 | 104-127°C(グレードにより異なる) |
| 発火点 | 349°C |

〔説明書〕 〔安全書〕

2004 / 12 / 01 作成

| | |
|-----------|--|
| 爆発特性 | 粉塵爆発下限界濃度 15 g/m ³ (平均粒径24 μm) 30 g/m ³ (平均粒径105 μm) |
| 密度 | 917-938 kg/m ³ (グレードにより異なる) |
| 溶媒に対する溶解性 | 水 ; 不溶 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------------------|
| 安定性 | 通常の貯蔵、取扱いにおいて安定であると考えられる。 |
| 反応性 | 反応性なし |
| 危険有害な分解生成物 | 熱分解により、COなどが発生する恐れがある。 |

11. 有害性情報

本製品に関する情報はないが、成分である[エチレンホモリマー]、[結晶性シリカ]については以下の情報がある。

| | |
|-----------|---|
| 急性毒性 | [エチレンホモリマー] 経口 (ラット) LD ₅₀ > 3000mg/kg 経口 (マウス) LD ₅₀ > 2500mg/kg 吸入 (マウス) LC ₅₀ 12g/m ³ (0.5hr) |
| 局所効果 | [エチレンホモリマー] (眼)刺激性を示す可能性がある。 (皮膚)粉塵、または粒子が物理的な刺激性を示す可能性がある。 |
| 慢性毒性・長期毒性 | [エチレンホモリマー] (ラット)混餌 90日(混餌量 最大5%) 影響:特になし (ラット)混餌 90日(混餌量 最大13500ppm) 影響:可逆性の肝臓の脂肪滴と腫脹 無影響量:2700ppm (イヌ)混餌 90日(混餌量 最大13500ppm) 影響:特になし 無影響量:2700ppm |
| 発がん性 | [エチレンホモリマー] (ラット、マウス、ハムスター) 皮下埋入または腹腔内 1-2年観察 影響:投与部位の繊維肉腫化 [結晶性シリカ] (ラット)吸入曝露 24カ月 (6時間/日、5日/週) 影響:肺の腫瘍 (マウス)吸入曝露 570日間 (8時間/日、5日/週) 影響:肺の腺腫 (発がん性評価) [エチレンホモリマー] 日本産業衛生学会:未収録 IARC:Group3 (ヒトに対する発がん性については分類できない) [結晶性シリカ] 日本産業衛生学会:第1群 (人間に対して発がん性がある物質) |

IARC Group1 「ヒトに対して発ガン性」

変異原性 [エチレンホモリマー] E-テスト、突然変異性試験：陰性
 [結晶性シカ]
 in vitro 小核試験、形質転換試験：陽性
 in vitro 小核試験、染色体異常試験：陰性

1.2. 環境影響情報

本製品に関する情報はないが、成分である [エチレンホモリマー] については以下の情報がある。

残留性・分解性 [エチレンホモリマー] 環境中で長期間分解しない。

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 埋め立てまたは焼却するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等の排出は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。
 焼却時に生じる灰分中に吸入により発癌作用を示す有害成分が残るケースがあるため、残留灰分が飛散しないよう注意するとともに、焼却作業時は防塵マスクなどの着用により微粒子を吸入しないよう対策をとる。

汚染容器・包装 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

1.4. 輸送上の注意

国連分類 国連分類の定義上危険物に該当しない。
国連番号 なし
国内法規制 消防法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送を行う。

輸送の特定の安全対策及び条件 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。空気移送の場合は、移送速度を低くしたり、確実な接地を行う。車輦、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

1.5. 適用法令

消防法 指定可燃物(合成樹脂類) 火災予防条例準則第34条

1.6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有

(整理番号) A1101

2004 / 12 / 01 作成

量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の実用を対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・
用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。